『東京三十日發電池』陸東の東部 を開める。 を開める。 を開める。 を開める。 を開める。 を開かる。 を見たので近く右 を見たので近く右

せられる

一般及中央部の充

研究の重監もこゝに在るものと祭されば大陰次の如くで軍艦調査会のと終合す

新國防計畫案の

相の内命で殿秘裡に修正の出るものと見られる社會は

をつけた

完成は相當遅る

具體的審議開始

(日曜火)

開省の共同反動によつて右節数 業出節約實行に努めつよるを陸 関連中を以て賦職の決定を經 で

代的編

第二次、無三次の節約を行ふ

がないのみならず明年度楽算編成も が歴史であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが取得であるが、例前であるが、例前であるが、例前であるが、例前である。

一般と経路の状態と見られてるるのでこ」に充分の決意をなし最近閣 家通り間明されない場合は本年度 は到底神域出来

日から飯々工場の一部を閉鎖する 工場一部を閉鎖する

勞働組合法規定

他の工場に振向ける

部を通じて三、四工場で從穀質はに決した、閉鎖工場は條鋼網板附

題

1/1

杉放庵

では二十八日排斥の決議を可決では二十八日排斥の決議を可決を傷辱してあるといふので民政沖職縣支部で民政沖職縣

賣

沖繩知事排斥

茂分の修正を見ん

陸海兩省に對し更に節約交渉

3

閣議に

以上がその主なるものである

元とある、これは主に新聞権だ 選や大声が、馮纖本社直然に選をしているとは、既に述べたるとこれは主に新聞権だ

と不生蔵的に、さ のこと、滅鐵の其倒

所版製財吉

走

で、これから再び本説に舞らんで、これから再び本説に舞らんで、そうして曹くは概形館社とと、講像の共概形館社を鑑されたならば、涯らく生産的とならば、涯らく生産的とならば、涯らく生産的とならば、涯らく生産的に、之を分離して考

馬

こでこれをなすに、傾聴に傾恐してみたいと欲したからで、そ

善いではないか。

寧ろ其優選を自然に任すが

食糧は騰貴せず

生活の影響少し

銀暴落と満鐵の中國人傭員

二村勞務課長語る

きでない、殊に様の暖ほど、労店に採つて以てそれを批評すべた其態繁が残らされまいから、たりになってはでもれる状ですが だ、新聞は多く巷の殿を紹介が、新聞は多く巷の殿を紹介

きでない、殊に様の際ほど、常にならぬものはなきに於てをやであるが、こゝに其種銭本計道をに選ぶさるゝと云ふものゝ名を、様の験から給つたは、試みを、様の験から給つたは、試みにそれが生産的か、不生産的が

でする必要ありしならんも、今 は之を支持し、がおのれ之を經 に、此製達なき當時こそ、滿缘 はさして力樹を入れるに及ぶま 瀬邦人間に、此病院(臀師)とを瀬線創立當時に比ぶると、在 病院と旅館に就き考へると、之

銀本社で監に選元すとの贈るる 世内に加ふるを驚せ、斯くて端 では、監判の民業

ふはそれが愛利を目的とすべき でないからである。

になり勝となる。

大き病院もを能も、在滿邦人の 事類として完全なのはない、之 を自然の襲薬に待つべきも、之 を得つ間とて、滿鏡は其完全を を待つ間とて、滿鏡は其完全を の解院、旅館事業に手足の届かばならぬとすると、そこに力を 角に滿線は常に其完全を期せれ 理由がある、斯んな理由をこゝ で繰返すにも及ばないが、鬼に すれば野び其事業は、不生産的

十日より授業開始するととなつ、 休は先駆訴係の結果園満解決し三 ・ 大は先駆訴係の結果園満解決し三 獨新財政々策 松山高校盟休解決

なので之が實行方法として政府 算の不足額の減少を目的とする 第の不足額の減少を目的とする

月力白系露人を

監禁或ひは絞殺

今日迄に約五十名行方不明

赤系テロ團の活躍

的な課税を貸す意向である

佛ライン艦隊

獨領撤退



假定 鏡五十六

蝿取 無害

特許

新来等にはある。

無條件回收を提議

租界

用京政府外交部から

本常らず不満を感じてあるが海軍。障を来すと憂慮されてある 「東京特電三十日發」海軍策算の一般はこの節約額は最大捻出額で若 を関したが大概省能は査定額三千 るにおいては浩船職工或は祭銭別 を開したが大概省能は査定額三千 るにおいては浩船職工或は祭銭別 を開いた。日本では、日本で表してこれ以上の節約を過

蒙古の新制度は

急に實施は困難

哲里木盟代表の意見

井上蔵相は目下の下安人氣一層の第一手及として二十七日午前十一時より蔵相官邸に都下一流生命保 験合社代表数名の有力保険業者を招待し特に俵商相も出席午餐を共にしながら不量類對策の製造を遂

けた「寫實右隣り井上蔵相・中央俵商用・外各代長者】

殆んど原狀に復舊す 来哈北平ホテルに投稿したが語る 三十日原級でウスリー郷由出發 三十日原級でウスリー郷由出發 が、どうなつてゐる であらうか、又中華自國民の状

職出界を無條件回れすることを決 を無條件回れすることを決 を無條件回れすることを決 を無條件回れすることを決 を無條件回れすることを決 を表 露領支那領事館 とあるがためであるといってゐる

なでの莫き判で満定間で駅 ・正確全こらあはさ題きに

一日八南万至西の風、晴一時 但し驤麻模様 但し驤麻模様 一時四十分 天氣豫報

章込みに影を折るより歌争で勝つ だが景気の選眼ではないかった だが景気の選眼ではないかった 産費以上の生産がなければ配合は ・ でも耳寄りの話。だも何十億の ・ でも耳寄りの話。だも何十億の ・ でも耳寄りの話。だも何十億の 3 小 懶 麥 拾 錢 本師

「郵券二銭御送りの方へ

▲到る處の商店にあり

今津化學

が先決問題。

イマッグ 便所くさみ止。 庭木、盆栽等には簡便な 香三本分の効があり頗る經濟 切り ツ ツ 蚊 取 香 7 並に南京中 殺 芳 虫

・よく効いて、安くつく

室内で全部死にます。 逃げ出す事が出来ませんから はない。

効力 絶 大

▲本島の羽虫、豚の頭 と 脳除に

▲牛馬の虱、蠅、蚊除に 本劑を用ふれば、

是非マカれより

今週中に御諮詢奏請し得ず 國產獎勵

> 實行方法を懇談 政府、民間有力者と

產業合理化運動

工作中であると

でテーゼを決定しスターリン氏は 政治、カガノクビ氏は驚の組織、 グレース、コルホーズ、シエベル コック氏らは職業組合につき報告。 でデーゼを決定しスターリン氏は が、カガノクビ氏は驚の組織、 コック氏らは職業組合につき報告。

大觀小

觀

御南縣附近で大金飾を競見したと 「いふ。満洲でも遼寧と吉林の省境 いふ。満洲でも遼寧と吉林の省境

極度に節約せば

建艦計畫に支障

の選票あり、二十七日スターリンの選票あり、二十七日スターリン大にも堪へる組織と技術とを有す

海軍豫算の節減難

新親族編

條文內容

ぬ話になる。

るだ関のにた機能のより質に要が会工

二十五日、燃中央本員総會で大智の大智は大田のジャ共産業大智は 大會議事 ロシャ共産黨

▲小坂祈務次官 七月一日二十時三十分蕭列車にて荒逋の豫定三十分蕭列車にて京城より來連三十日下り機にて京城より來連一時高代松氏(實業家) 同上り機にて京城へ

_

用意せられよ!

●衛生大掃除には

■蠅、蚤、油虫、南京虫 其他家庭害虫の全滅薬

居る同氏は一九二七年と八年の二ヶ年にサワラの大沙漠燐脈に成入京帝國ホテルに入り目下お手のものゝ自鵬車で市中を見物して

慶る豫定でダーテス夫人は総在期間中議算の松竹村の世界最初の記録を有して居る、総京は二週间

その陰に かくれて大熊な 間の消息を物語つたもので、今回 の君狭町様事件の如きは最もその の君狭町様事件の如きは最もその である。

河南に出で上海から無船で長端に渡り下脇から陸路東上、十六日イタリーに出てギリシャ、ベルシャ、トルコ、インド、ピルマより

でで物質を保ち、世間的には相常信を保ち、世間的には相常信を保ち、世間的には相常に対し得ない。然しこの種の犯職は少人數と非難されてある。然しこの種の犯職は少人數

満洲最初の試みたる大日本少年野球協會主催の第

十三川全國少年野球大質の第一回全層洲深邁會は十三川全國少年野球大質の第一回全層洲深邁會は

勲章をさげた

世界

周自動車

日本大使松平恒建氏、同大いてレセプションを機能においてレセプションを機能におが兩般でのため大使能におが兩般でにはイギッションを機能におけて13・19人同士水入を到50見遊り、同士水入らずのはまれ野人同士水入らずのはまれず人同士水入の間が見遊りのでは、100円のでは

腕によりか

開戦を待つ

小選手

愈るあす滿倶球場で火蓋を切る

レッコー氏夫妻の入京

大連署の懲可を得ずして無ឃ撃撃である許可なく、殊に工場設置には

認可

の申請

けふ、大連署を通じ關東廳へ

なきに出訴。 なきに出訴。 なきに出訴。 なが、 がな働いた藤尾敝郡の親分格里院 を働いた藤尾敝郡の親分格里院 が変がでり地各所に手賦動指に があるたが、過程門司智等の手 に能へられ二十九日大連檢察局に に能へられ二十九日大連檢察局に

今後活動期待さる

常工場を設けーケ年中に重りモビ 市内の質ン中にかゝる大規模の砂

高松宮

邦人と御歡談 大使館で在英

押送されて来た、同人は大分縣と 電車終監地立のため海配と英謀、老虎社 一山崩れ五百萬坪の携下運動を行ひぬ 山崩れ五百萬坪の携下運動を行ひる 一山崩れ五百萬坪の携下運動を行ひる 一人は大分縣と

くて正確な は計時 市漁町(ナニワ館隣) 電路6678番

h

る方針を定め目下

自動車營業組合

で近く怪しと既んだ家蔵は脳紋す 整響な生活をしてゐる人物の家意 整を行つてゐる者相當ある見込み 強を行つてゐる者相當ある見込み

内値の少 を進めてある右 最近いろくの風評を耳にせぬ でもないから消狭町車件に鑑み でもないから消狭町車件に鑑み でもないから消火町車件に鑑み

關東長常

目を囮の

土地拂

下げ詐欺

門司署

で捕ばれ押送

土地不正事件も一段落か

出願中の沙河口戳り西山屯七萬四木請貨保證金五千圓を得んと金て木請貨保證金五千圓を得んと金て

(日曜火)

コツ

ソリ建築

したもの

若狹町の窒死怪事件に鑑みて

怪しい藥種商に手る

料金率 をもつて内規で協立 定の形式を執る模様である、組合定の形式を執る模様である、組合 が入金として當っ

ヒ密造工

場は

露

絡る奇しくも尊い美談 龍頭 吉村が譽の軍 橘の定紋と刻んだ名を賴りに の戦に斬死

0

→沈み行く のを見て想が一二日、火の器の機な順赤な太陽が

き探す奇特な元御用商

◆: 日露戦争 常時陸戦御 十萬龍を闘東倉庫の前身たる陸戦 に使む岩田千代松氏といふのがあ に使む岩田千代松氏といふのがあ 質の草原のある金州から龍鎮一 一で、明治四十一年、常時はまだ のマグサを刈る事となり、苦力数 いった、明治四十一年、常時はまだ のマグサを刈る事となり、苦力数 いったが陸電省の御用によりマグサ る事となつた、しかるに岩田氏は一で つたが陸電省の御用によりマグサ る事となつた、しかるに岩田氏は一で は激戦の後野末の石の下に冷めたと岩田家に似はる邀物を出征の首 ひはいつか故郷のこと、友人親戚の5へに及んだが、その時フト思の第一中監附曹の役に第一師駅十一中監附曹での後に第一師駅十一中監附曹でも、大和魂の駅母に侵を繋が、その行治田氏の最近にや、これはお前にやるから軍で、これはお前にやるから軍が、そして天晴れ大和魂の斬れ味をロスケに知れたのよう。 友人親戚

で帰田氏は草原のがまぐい大きな まぐれ、家重となった、 家重「ち急に別の行方が

職後の純末に官民大館の最中であった、明治四十一年、常時はまだ

が知りたくなり掛

遺族が判れば

西廣場から入つた近江町の岩田千 喜んで渡す 岩田千代松氏談

近の支那とませる。 根なたところ、一本これはと思は れる一振、取がはよほど動態した ものらしく解などには血触がまだ こびりつき、刀のつかのところに で橋の定紋があり、しかも在網 で橋の定紋があり、しかも在網 形が数金で聴ひ、一つには亡き後 兄を偲ぶよすがにもと急重してる の定数と音材といふ名を唯一の手際でなくてナンであらう、その時から岩田氏は「この別を遺族の人を探してそつくりお渡したい」といふ気持になり好い機會を得るのに汲々としてゐたもので、既に橋の定数と音材といふ名を唯一の手 をはいる、明日知れの生命を前に愛力 に型の名を変んで行く何んしこれ に型の名を変んで行く何んしこれ が統裕あり、また、大和 丞 の愛 が統裕あり、また、大和 丞 の愛 うこちるではないか?その時指田をしらべて見るとつばに吉村と彫 氏はこの刀の特主の心情をられってあるではないか?その時程 たものであるが、或日 と涙をこぼした 投いて万分

何りとして今日まで探して來たも

最近聖崎街、伏見豪方面に窓岐 の空巢服ひが照々として出没し、 の空巢服ひが照々として出没し、 の空巢服ひが照々として出没し、 あつたところ、さきに翌崎街一 あったところ、さきに翌崎街一 と判明し、廿八日午後十時ごろの大質により犯人は原籍山口殿 大工前科四犯中村孫一(ま)の所管

り頭側組合としての効力を競生するので、誠可を待つて具體的頭用は 既に全市に直り続 然し賃金間駆は既に全市に直り続 なし賃金間駆は既に全市に直り続

リ捕はる

聖徳街方面荒しの 空巢狙 ひ捕はる 四犯の邦人土工

出先きより闘空したところを張込いのであった司塔刑事に逮捕された中であった司塔刑事に逮捕された中であった司塔刑事に逮捕された

誰にお聞きになつたんです、 は私も初のなちは私の家に強 た吉村といふ人の事を思ふと、 ウしても遺族を探し出さればと らない様に思へたのです、領は 高人をしてゐた關係もあり因終 で炒なものですね、刀は鑑定を にいはせると

古刀で 中どころのメ
そうです、龍頭附近で手に
たのですがあの邊は乃木空
の第一防禦線にあたつてみ
の第一防禦線にあたつてみ
の第一防禦線にあたつてみ
の第一防禦線にあたってみ んが一時貧乏をした時なぞ何知の様に今はそうでもあります、御山縣、茨城、千葉、群馬邊り 類して同じく忠慰塔を建設した事 郷里山梨には中央公園の忠霊塔を

を表現現れて十五年酸死した勇士 の遺族を探す岩田氏こそこの混乱 が表現れて十五年酸死した勇士

千餘坪の掘下げル受け、こムに 牧 を対して土地不正事件は一 を対して土地不正事件は一

死んだ専村といふ人のこ

郷里山梨には中央公職の忠靈塔を はかねてよりその憲志を認められ はかねてよりその憲志を認められ

段落を告げたものと見られてゐる 斷然絕食 り外人が 「正しい裁きの

ない間は」と

ヤ人ルザーフオッス(ご) 並びにレ できに大連丸の出帆時増田大汽重 できに大連丸の出帆時増田大汽重

をいいまさのない間はパン をいいまさのない間はパン をいったのだ、神かけてお響ひす をいったのだ、神かけてお響ひす をでした。 をいったのだ、神かけてお響ひす をいったのだ。神かけてお響ひす

もと些か水上戦ももで餘しの態は事質と認められてゐるのでこと 浪速町専門の ・係官を困らせてるが

乱調子の新安値提供新なが、京の新安を持ちます。

大連一伊滕吴服士

で部 方を交渉すること」なった、次いれて部 あるが、今後組合の活動は相當期でガソリン購入問題も研究されて組合 でガソリン購入問題も研究されて を抗情響調中の今流流をが収見るなが、大れ暴口をスリ取り逃走する犯人人れ暴口をスリ取り逃走する犯人人が表ができる。 警戒中、廿九日午後十時三十分流出没し被害類出するので大連署で出た。 町三丁目夜店見物中の大連二中 廻つてゐたことを

レ月一日ヨリ 七月十五日マデ

•

9

少年の家出

稱して日高方の現金四十圓を扮幣、
由午後一時中ごろ星ヶ浦に行くと
山午後一時中ごろ星ヶ浦に行くと
北京では、
山木 币內千學町二二番 日高淺治方大 卅日

割引と景品抽籤券付

全くお安くなりました新安値品續々入荷

中屋哭服

八幡製鐵所軍 明朝着連する

イワキ町

連

で第二埠頭二十一番バースに荒連 月一日午前八時同所々有約香樵丸 人uwww 銀所テーム一行十六名は七 大型製銀所テーム一行十六名は七

举行

『實局』で一網打盡 不用品入札競賣店告 品名及數量 織屑及舞品約一五〇〇地 不要機械六〇〇屯 入札月日 七月三日午前十一時團 村期品下見 七月二日午前十一時團 特開札 於中央事務所用度係 理理課倉賦 是積金額ノ一割以上 大人城部 於中央事務所用度係

渍

最も適當の

日本各地名産.

珍

十九日午後七時ごろ南沙河ロー四 二大連機械製作所締物工蹴守職(Talan)

あす店びらき

期待をかけられてある石炭箱出港 大連世ボー埠時はいよく、明一日 大連世ボー埠時はいよく、明一日 より際薬を開始するが、當日は大 は、1000円ので を集め開所式を行ふ管である、式 ・ 一 は 一 は 一 時半に 上 り 質地・ ・ 一 時半に 上 り 質地・ ・ 一 時半に 上 り 質地・ ・ 一 時半に 正 り 質地・

よく、明一日午後一時より補洲球場に於て本社主艦のもとに難々しく開始されることになつた、各よく、明一日午後一時より補洲球場に於て本社主艦のもとに難々しく開始されることになつた、各よく、明一日午後一時より補洲球場に於て本社主艦のもとに難々しく開始されることになつた、各よく、明一日午後一時より補洲球場に於て本社主艦のもとに難々しく開始されることになつた、各よく、明一日午後一時より補洲球場に於て本社主艦のもとに難々しく開始されることになつた、各よく、明一日午後一時より補洲球場に於て本社主艦のもとに難々しく開始されることになつた、各よく、明一日午後一時より補洲球場に於て本社主艦のもとに難々しく開始されることになつた、各よく、明一日午後一時より補洲球場に於て本社主艦のもとに難々しく開始されることになつた、各よく、明一日午後一時より補洲球場に於て本社主艦のもとに難々しく開始されることになった。各

埠頭

事務所二階で開所式 ギッシリ海戦!

講談俱樂部 讀むなら 一流大家の大傑作 分說

一一册五十錢 授料金五圓也 全治者禮狀山積す 全治者禮狀山積す

會

葬

御禮

松井春子

女子事務助手並女給仕集一、外野 世五人、十七八歳より三十歳位迄一、外野 世五人、十七八歳より三十歳位迄一、人数 世五人、十七八歳より三十歳位迄

图 酒 00

最を以つて提供申 八月廿五日ョリ で月十五日マデ

七月 日 元御贈答品質大 申上げます 何卒御用命を願上げます元御贈答好適品を多種多様に収揃へ特 、賣出

の町速浪

かへしのつかぬこと、どうせ命

、あたしの過ちはと

が、いまとなつては……」が、いまとなつては……」

本社能感部の駆動夢心は既報の如果賞募集は二

の救援

列

来て館の表を浴衣がけでゾロく 本で館の表を浴衣がけでゾロく

があてある石近の姿が眼に入つたと、ガッタリ外れた中の隙に、 と、ガッタリ外れた中の隙に、

初日延期

かくし戸開いた途端に飛鳥の加石近奴をどこに逃しおつた?」

左近は風呂場の戸を就破った。

「ええ、せめて一太刀浴びせてや

非上 太市氏

二十六日公開

さぞかし怒つておいでだらうよ

観はニタコリ笑つて鏡藍へ向

持になった。

「して右近めけ?」

からは荒れしげな物質が響いて

近様、せめてはゆるすと……」 ただし、せめてはゆるすと一語を、左一修れた

「う」む、すりやそなたも右近に

た、折続な出してなった。 と、折続な出し、この女もな殿ではあった。 と、折続な出し、この女もな殿ではあった。

ッソレ 8 ロカワ フルヌリテトへホュハロ

に では あった」 では あった」 と、 折輪は出す 九ツの 離 ー た近は 野谷 が成 版の みぢゃ」 を近は 野谷 が成 版の みぢゃ」 と、 折輪 は出す 九ツの 離 ー と、 折輪 は出す 九ツの 離 ー と で が で に 職を 駆かせた

よける暇もなかつたの

身ゆるしたわ、それがしが恍石近 に見え、正質の左近はこゝに居る お他は思もたえんとにその名を か、これおは!」

たまぎる呼びを襲してお岐は右 しぶく血効をうつろな瞳にぢつ と見やつただ近、 と見やつただ近、

一方の、お他の言葉も終らぬうち、説相な……」 死にゆく身ぢや、明日にも大事をいでゐる。 「おお!、それでこそあたしの左 からす組◇ 、寫價は主役細谷十太夫に扮した阪東婁三阪妻の新作品で奇怪なる鴉組の活躍に阪妻大佛次郎の原作を犬塚稔監督で映畵化した

な、何と申す、ではそなた、右

ドの作家エリイザ、オルゼシュコドの作家エリイザ、オルダーを近代に改變したもので入木は大郎脚色、田破剣、一个で變のみが生活の一般で変か、見かる就職へ、一般で變のみが生活の一般で変のみが生活の一般で変からちに曝露した。とを数へ、從來の所謂新派認いたか子田の問題を提示した問題の映画を担い、他来の所謂新派認いて今時に受ける。

一日から大連館場に於て難々しく、 乗びみ上陸後直ちに町避りをなした、 乗びみ上陸後直ちに町避りをなした、 乗びみ上陸後直ちに町避りをなした、 乗びみ上陸後直ちに町避りをなした、 で入場料は二四、一日長付「熊天小僧」 で小人は各等五十鏡場「馬座村都寫子は既 で小人は各等五十鏡場「一下一下」 で小人は各等五十鏡場」、 第四年 北京 第一下 100 日 北京 100 日

HIMME

抽籤

附

納京園開催中

が薄く各館とも申し

この母を見よ

映畵會開催

磐城町大日活に於て



催すべく準備中のところ、日活撮 田を見よ」映画會を大日活にて開 田を見よ」映画會を大日活にて開 田を見よ」映画會を大日活にて開 ント競増が避れた爲め昨廿九日入影順にて「この母を見よ」のブリ 映畵この母を見よ 所謂母性愛映畵型を破つて

本映画館(やしがつて「一つ各館 だん」(町越りが派出になって昨だん」(町越りが派出になって昨 を連ねて日本囃子で練りが、

ラヂオ

トーキー競響トーキー

踊子をめぐりて

本紙に連続好評を博してある日活 監督のメガホンは遊戯性にみなぎ 現代職特作品「この母を見よ」は つてその努力はスクリーンに躍動 現代職特作品「監殿天満草紙」と共 に上晩されることに狭定したが、 ある に上晩されることに狭定したが、 ある 「この母を見よ」はボーラン ある 「この母を見よ」はボーラン ある 「大重割場目は、 「一大重割場目は、 「一大重割」は、 「一大重算」は、 「一大重算」は、 「一大重算」は、 「一大重算」は、 「一大重要」は、 今日の問題を提示

▲安那剧「中空縣」連東俱樂部々 ●筑新琵琶「海洋島」筑紫白菊 ●筑新琵琶「海洋島」筑紫白菊 ▲講話「夏向水菓子製法第二回」 本講話「夏向水菓子製法第二回」 座「初等第四課」滿鐵B

IRI 密 座

ド在見主演 杉在見主演 と る と ろ 日

東嶺街陽口天井出 代の

にんしん 按腹乳をみ其他腰痛手足の痛む師方線の身後マツサージあんぶく 大弾市美藤町二五電六六八八 大弾市美藤町二五電六八八八

開 原三 日鐵 嶺四 時間 原三 日鐵 嶺四 日本五 陽十二 田四平街二

瓦房店# 日奉

か十銭速町の浪速館 ************************************** 量 七月 香〇〇五八站電

現代の代表的趣味の雑貨、東京新流行の粹を蒐め東京時好會作品展覧會 一布陳列 西田 一日より 一日より 一日より

覽會 ◆通山大連大◆

御中元に 日より は三越の品。御恰 十五日まで全店…… を澤山取揃陳列い 每夜九時迄夜間營業

御目見得 思期 時代劇 愛して 頂載ね 対 戸 浴 を

构 大

瀨 蔦 連 劇 派

3 月一日 2 V 午 後六時 開演 櫻井内科学院

內科專門

帝劇

當

女優

廿八日より 電燈線から聽える 海沿海 絕對保

大岡怪館、電車の調子 西井淳

良男復歸第一回監督

なり・尾崎靜子時のかね・雲井月子時のかね・雲井月子時のかね・雪井月子時のかね・雪井月子時のかね・雪井月子時のかね・雪井月子時のかね・雪井月子時のかね・電子時間では、

短期公開

一等 赏入 選 新コンドル **月赋先渡** 蓄音器兼用 内地聽取用 型踩進呈 田邊商店 大連 西 場場 電話 回二五七 HHHHH

父中井光二 二日午後四時途中行列を厳し福津町位に謹告仕候也 の為め死去致信於て急病の爲め死去致信於て急病の爲め死去致信 市外老虎醾西口

一つた方にはお買上高の学額を

が半額になります。 まく當ればお買物

釶

讀者階上七十錢階下五十錢 七月日より一週間

惠藏主演の時代

同八

日 よ

ŋ ょ 五. 日迄

り七日迄(第一回) (第二囘)

大化 各地別に座談會をなす向に對しては經費の一部分を負擔する意向、九・十一日を大達政議解案限及旅館協會にて韓族才、奥地視察成所に當て聯合會、流域鐵旅客課及放館協會にて韓族るが減鐵旅客課及ツィリストビューローの手により申込を緩めるが減鐵旅客課及ツィリストビューローの手により申込を緩め

参會商議氏名

満州見本市に繋し三十日まで申

出願激増

一加者に行泊手配 の多類者三百七八十名の手配 の多類者三百七八十名の手配 とでこの他後郷しになつてゐる を地よりの参加者は千二三百名 を地よりの参加者は千二三百名 では、海鐵族客隈、旅館協會 では、海鐵族客隈、旅館協會

五月中に於ける大連市内建筑保 多く、「練数二百四十二様に及びこ の整曜八千八百三十六曜に及びこ 北を前月に比較すれば練数十二、 「本数千百一坪工費二十六萬二千個 を何れる増加し、前年同月に比

六月中海運市況

不振狀態を持續す

一、所謂『法人』なる名稱は二人以上 の人々によりて企靈せられたる 凡ての組織事業を意味するもの 人々によりて企靈せられたる 人での組織事業を意味するもの と解釋されてゐる、而して所定 の官廳に對して登記した其の瞬間より此の數人によつて經營せ ある、今日までは此の種の組織事業登記は東省特別區市政管理 事業登記は東省特別區市政管理 高の手に依つて正式の承 認を得て來たのであった、其承 認を得て來たので各法人に對し相 雷なる認可證が下附された、此 の手護は今回全く變更されたの

大月中の一豆粕 室前生産高は百四十三直九十四萬七百枚に比すれば四十三萬九千七百枚の場別 を示して居るが、前年の五九十四萬七百枚の場別で、前月中の百九十四萬七百百枚の場別で、前年の不振に比すれば大陸増加の傾向にあるが、前年同期 を示して居るが、前年同期 を示して居るが、前年同期 を示して居るが、前年同期 を示して居るが、前年の場別 を示して居るが、前年の場別 二、新登記手籤 今回の新除令に於ては東省特別 高市政管理局の手を經て中央政 商務部の登記に關する承認を 得る必要あることは從來と同樣 であるが、此の承認を得るのみ では未だ完全なる法人存在の意

歐洲の大豆品薄 相當に買氣起らん

最近歐洲方面に於ても品不足の際。 あるようである 動物大豆の歐洲内弱合は近米殆ど 向を生じ来りたるものよ如く、雷 満洲大豆の歐洲内弱合は近米殆ど 向を生じ来りたるものよ如く、雷 本来したが鼠動である、要するに本生のとなり、 東行社総と北端は悪けて南行し端。 東行社総と北端は悪けて南行し端。 であることは前に 大が軌線の数替、車線のであることは前に を来したが鼠動の数替、車線の神像数 を来したが鼠動である。又類数の増加 上が鼠動である。又類数の増加 上が鼠動である。とは前に を来したが鼠動である。とは前に を来したが鼠動である。とは前に

七百

昨年度に於る

満鐵の業績

(E)

各種營業別に見た

質績ご前年度比較

地場保入

等に於て八十九萬圓の母牧を見た ・ けれども総局差費二百四十五萬一 ・ 一艘寒紫囊においても三十五萬餘圓の滅牧 ・ を来したがその原因は炭礦その他 ・ かたためで販翼動量の増加においても三十五萬餘圓の滅牧 ・ 方すこの程度で売んだ時である、支

三東新(南 公八

様御願します 一様御願しますのものが を網を有するはW を有するはW を有するはW 金網豐商 環 籠花 ば 逋 ら屋花

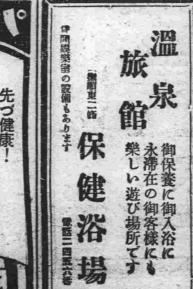
環

西遊 70 村 御用命下さいます。す

め上海情報は電線故障の爲







心身殿(岩00 三型00 三型00 三型00 三型00 三型00 三型00 三型位列限(岩00 三型位列限) 大月限(岩位) 大月限(岩位) 大月限(岩位) 大月限(岩位) 大月限(岩位) 大月取(岩位)

小野木 共同建築事務所 (\$ 图) 共同業事器所 (\$ 图) 共同業事器所 (\$ 图) 共同業事器所

大連市紀伊町建築協會三階

倫敦向電信翼(12)三志の片人分之 同一一ヶ月翼(回)三志の片大分之 同一一ヶ月翼(の)三志の片大分之 程育向電信翼(金青)三元兩四分之 一下月電(銀青) 天園の 日本向電信翼(銀青) 天園の 日本向電信翼(銀青) 天園の 奥地市况(紅州) THE WAY OF THE **福州代理店** 一工

が大量生産で安くなって居ります。 が青年の活動服、オーバオール、線き服 ・キャバデンズボン(白、クリーム、焦茶、最色)一層セナー ・サバデンズボン(白、クリーム、焦茶、最色)一層セナー ・ は他各種作業服、服装類特質率仕 ・ なって居ります。

SEAU ALMANTINETY

普通學生團體の部 屋 大廸 東市信憑町 五三四二 藍 旅 会館 会館

任は最早や内定してあるから」 とて断つて仕舞つた、その内定 してある人物とは例の田村氏は 氏であつた、ところが田村氏は 手軽に豆信事務に就任して仕舞 つた

前場審前場引

神戸豆粕

| 一直 | 三前 | 一面 |

(四)

滿洲

見本市

0

豆油一八二、計二、

二豆六粉

取引所長

0

蓋明け愈迫る

名實ともに東洋一

世間の鳴話 つたとかと思べば今度は収引所 長の椅子問題が入釜敷くなつて 來た、最近港構スマメのサヘヅ ルこと~例令ば

來月七日から開市の順序

の好調では銀市の正 祝僧の好調に

オグペー三一十十七現・株 ムロンコ 月月月月月初 機 リーラチル 協

安高引寄同 豆 五品 值值值值值 现先中當先中當

十十十九八七六

法人登記

令

延六月限り

最近で翻賓の一般社會並に製到場 最近で翻賓の裁判所が如何に此の問題に 神つてゐる 此の問題は日を追ふて騷々たる世 論を惹起し殆んど昨今唯一の開始に 社の問題に相を追ふて騷々たる世 一本と會見して種々意しい。 主と會見して種々意しい。 一本と會見して種々意とを関かにすることを明かにすることを明かにすることを明かにすることが出

(七月) 中国 (七月)

今現物前場へ銀鶴) ・現物前場へ銀鶴) ・現物前場へ銀鶴) ・現物前場へ銀鶴) ・現本高 十五車 ・田来高 一萬二千枚 ・田来高 一萬二千枚 ・田来高 一萬二千枚 ・田来高 一萬二千枚 ・田来高 一萬二千枚 ・田来高 一百五 ・田来高 一五一五 ・田来高 一五一五 ・田来高 一五二五五 ・田来二五一五 ・田来高 一五二五 ・田来高 一五二五 ・田来高 一五二五 ・田来高 一五二五 ・田来高 一五二五 ・田来二 ・田来二 ・田来二 ・田本二 ・田本二

5|5||高為寶

京社 | ○四五百箱 | ○五車 | ○五車

滿鐵新株

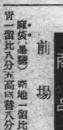
引二九圓三〇錢

場(保合)

中次片丁度と、十六分の一高)先 引前低落 朝の海外材料としての倫敦銀塊

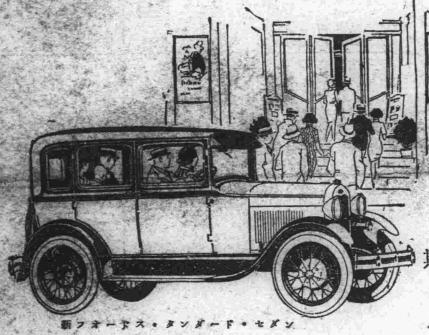
品東 參 豆品积 ② 後 3 中 3 常 3 常 3 常 3 定 3 後

合









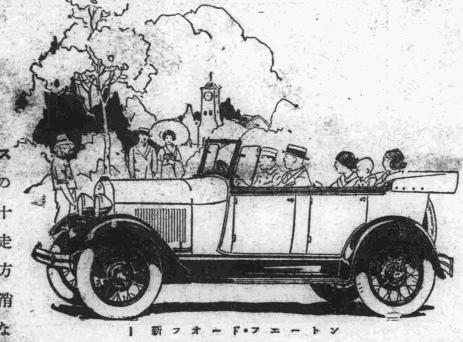
ボストン商業會議所に 於ける某米國自動車會 社長の讃辭

(一九三○年四月十二 日發行オイトモビル トビック所載)

斯る讚辭を呈せられた る自動車が他にありませうか

我社はその事業に最大の價値を保證せられたることを誇りとします……フォードを御買入になれば決して御後悔はありません

新フオード自動車は低くスマートな外線と快い塗色の 諧調を持ち………時速五十 五哩乃至六十五哩……走 行静粛にして圓滑……二方 向ハウデール水壓震動抹消 器を装備して走行を愉快な



らしめ……無害内面展開全掩蔽制動器六個と三屈折風除け 硝子を以て安全を保證し………要 千哩の走行にも正確不變なサービスに耐え得る機構の堅確を持つてゐます

新フオードのスタートは宛然電光の閃くが如くその氣化の迅速さは説明するまでもなく市中随 所に實證せられてゐます。これ程迅速にスタートする自動車は極めて僅少であります。設計 機構 値段のあらゆる點を綜合してこれ程完全なる價値を持つ車はありません。

始めて自動車を御買入になる方は勿論 始めてでない方でも是非フオード販賣店に御相談下さい 新フオードを 御試乗になればこれ程立派な自動車がどうしてこんなに廉く販賣されるかにお驚きになりませう。

特約販賣店

大連モーターセールス商會

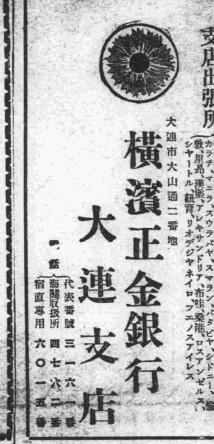
山縣通百五十四番地電話八五四六・七六九六・二一八八〇番

上海 フオード自動車會社輸出部

最善の作動を望まるる方は純正フオード部分品を御使用あれ



印刷一般 オフセット 東亜印刷鑑大連支店







井 保 険 神電話あり次祭係員多上御州談中上手 神電話あり次祭係員多上御州談中上手 一井物産株式會社 大 連 支 店 大 連 支 店 大 連 支 店



東州佛露其他各國
外國貿易事勢取极
外國貿易事勢取极
外國商品市況級路の調査紹介
合資會社
満德洋
行

精神、日報報費を放いて 精神、日報報費を放いて 大連市等城町、八(日活館前) 大連市等城町、八(日活館前) 大連市等城町、八(日活館前) 大連市等域町、八(日活館前)





が確定され、同年十月一日以来政でやつてあたが一九二七年に無料

整に弱上げんとしてある)即5つであった、交今度これを四分五 単に弱上げんとしてある)即5つであった。交今度これを四分五 単に弱上げんとしてある)即5つ

大きに保護加入者が機関を失ったら幾何の保護金は一時に費ぶのではなく、失ったの、他し最長脚型二十六期間のではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、失ったのではなく、大きにはなった。

損害賠償

ではかきない。 大変を表している。 大変を表している。 ドイツも昨年以来不思いからである。 ドイツも昨年以来不思いからである。 大変を表している。 とれている。 とれている。 これには、 これにはいは、 これには、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいはいは、 これ

は、大きないでは、 の地域に対して「職業問題を実施を を受験を をした。 を受験を をした。 をでする。 をした。 をでする。 をでする。 をできる。 をできる。 をできる。 でする。 をできる。 でする。 をできる。 でする。 をできる。 でする。 です

ば折角のスタンダードゲーギで然るに今日までの狀況を以てす

黨籍復歸か

ででは人事行政刷新事項中 事行政刷新事項中 を記しては人

びにその教育施設の具體的土卒査質優良者の投權、補

少年兵のが陸軍

すること、すると し時局解決後その損害賠償を要求

的見地よりする人物經濟を置る、一般よりも廣くこの種人材の

園公に報告

精衛氏らの

(版內市)

日支連絡會議

日本側の意のあ る所を認めよ

今日の支那の情勢を以てしては るものである。南方軍が降からのと觀念せねばならぬ。併しな ば、恐らく日本の希望するがら日支間の旅客貨物輸送の連絡 日支連絡會議などの開催され、これのである。南方軍が降から

旅行とを將來せんことに終 日支廟國間に圓滑たる連終 上以て人類の驅祉增進と倫

って質はんことを 開たる連絡を希望 をとに努力しつ ととに努力しつ

次官會議で協議

社會主事會議

不振原因

下半期も悲觀

半期貿易

電話會社設立に對し

全員賛成實現に努力

共同事業會社の設立を圖れて、官登整理のため電話建設

一角皮を敷造する事利査金を融通する事

『東京三十日韓電通』文部省は三十日全興社會主事会議を開き大正 九年聖上座下が東宮にましました 在 中記念事実を諮問したが、會議は 一、青年教育機関の協力を開き大正 の 音中を行つた 一、青年教育機関の協力を設ける等 して会員を設ける等 して会員を設ける等 して会員を設ける等 して会員を設ける等 して会員を設ける等 して会員を設ける等

施の銀塊安、内臓による総帯輸出であり、 の銀塊安、内臓による総形であり、 の銀塊安、内臓による総形であり、 の銀塊安、内臓による総形であり、 の銀塊安、内臓による総形であり、 の銀塊安、内臓による総形であり、 の銀塊安、内臓による総形に終いる。 の銀塊安、内臓による総形であり、 の銀塊安、内臓による総形であり、 の銀塊安、内臓による総形であり、 の銀塊安、内臓による総形・ の銀塊安、内臓による・ のように、 のまた、 のまた。 のまた、 のまた、

候補交は下土として各隊に融置すしを見るであらら

を實施する方針であると を實施する方針であると を實施する方針であると を實施する方針であると を實施する方針であると を實施する方針であると

(=)

社

說

を増進する所以となるのではある

韓軍青州に退却す

壓迫され

軽由し得るといふことは非常に愉例外としても、歐洲大陸におけるの競魔を期する上において多大のの発魔を期する上において多大のの発展を期する上において多大の同じので、欧洲大陸におけるが強利せられる。ロシアの如きは

東の第二回線攻撃は去る世七日より開始されたが、南京政府軍政部 大電によれば世八日總攻撃を終っ 大電によれば世八日總攻撃を終っ たが蔣介石氏の激励もむなしく主 たが蔣介石氏の激励もむなしく主 をが東京の東京政府軍政部 による世七日よ 隴海線は休戦狀態 中央主力軍交代せん の如く語る の知く語る の知く語る の如く語る の如く語る の如く語る の如く語る の如く語る の如く語る の如く語る の如く語る 江尻發列車で闘京したが、氏は左を報告し十一時退取午後一時五分

八婦女子青島避難

東京三十日愛電通』三十日定例 三、奈 を興ふべし と主張

不況打開策批判

東京市の

二百卅七萬人

が大青年團代表者大會等

滅相と遞相の

滿鐵株昂騰

意見合はず

郵貯利下げ問題で

電 た 「東京特電三十日發」 清線株はさきに收益減少による被配見込しで で現実 野となり更に 空質りの踏み で現実 野きなり更に 空質りの踏み で現実 野となり更に 空質りの踏み で現実 きない がった 一直には 有 で は 二十九 直 二十 鏡の 高値 は か となっ こ

貴族院側における

財源を以つて中小商工業者に低一なつた 「郵便貯金利子引き下げに依る と主張したが、電話建設事業會社 を與ふべし と主張したが、電話建設事業會社

発育、交友俱樂部方面の政友系で つたに難し貴族院では楽悲劇様の りたに難し貴族院では楽悲劇様の 地部観測が行はれてゐる、即ち研 りない。

同和対等の民政系及び政府に収

界の戦局を切抜ける道なしと稱 が乗ぎ根本方針を替べざる以上 に関係している。 とて非察債主義並びに緊縮政策 の人口は監災後非常に異難し調査 和四年十二月末日現在の區役所の を行った結果との程子の総宗を得 を行った結果との程子の総宗を得 を行った結果との程子の総宗を得 を行った結果との程子の総宗を得 を行った結果との程子の総宗を得

三級烯下賜(各通)

四級俸下

蘇城炭礦警戒

四級俸下陽四級俸下陽

關東廳城信副东

被部 與平 息治 與平

三級俸下賜

成田彦次郎

職事(東京) 旅順工科大學教授 長谷川龍彦

を寄するものはまる特別議會にて貴族院は中、小産業者並に失業者教濟に関する建築家を成立せしめたがその賃意たる不況打開對鹽策に政府が態々着手した以上暫くそのほけ遠を静剥すべきであるとはしてゐる 地震では、五十九萬一千百七十八十四萬二千七百六十七人を激増し一四萬二千七百六十七人を激増し一四萬二千七百六十七人を激増し一二五位を占めてゐる。市内十五區中人口最も多いのは經草區の三十一人の最も多いのは經草區の三十一人の最も多いのは經草區の三十一人で最も拠いのは

本年上半期貿易 一億圓

前年に比して約六千萬圓減

三厘とし來る九月一日より實施す 「又對二尼見 「東京三十日發電通」 郵便股金利 輸入港に配して商業地とし北方海 「東京三十日發電通」 郵便股金利 輸入港に配して商業地とし北方海

反對意見

報告書發表

郵貯利下げ六厘

小坂次官日程

九月より實施に決定

四級権同の一個領域に関する官の一級権同の一個領域に関する。

和多野健藏

五萬八千圓、輸入三億四千三百五十五萬九千圓、輸出入總計六億二十五萬九千圓、輸出入總計六億二十五百三十一萬七千圓を騰減して 前年に比し輸出二億八千四百七十 億七千七百三十八萬七千圓で

重要品輸出入 ある 白系露人

利子引下影響

テロール團潜入

千三百萬圓千三百萬圓

起二式

各一要人が参列 中前十時から近午まで奉行するこ なとゝなり感験以氏を始め要略の文 武大官連や領事戲は一日午後十一 時数列車で奉天出義、同地に向ふ 同式に列離すべく出發すること」 なった

一南方顧川港に成して工業地東南方・一大月二十五日府天津大会報の報ず、大馬二十五日府天津大会報の報ず、 計畫島の市街 無保險金中から若代の金を覧えるに相當する、この外に失業者は病

間少い野の 地域とから名前を改めてゐる、然し、 一般感動上致民動演に違ひがないから 生態動上致民動演に違ひがないから 生態動上致民動演に違ひがないから は最長数強肺域が失変保險による い、前記の「危急数薄」は昨年迄 で、その理由は即ち有能の失変解 した、その理由は即ち有能の失変解 を下、その理由は即ち有能の失変解 を下、その理由は即ち有能の失変解 を下、その理由は即ち有能の失変解 を下、その理由は即ち有能の失変解 を下、その理由は即ち有能の失変解 を下、その理由は即ち有能の失変的 を下、との理由は即ち有能の失変的 を下、との理由は即ち有能の失変的。 の所轄であって中央政府は関係が共戦済」は地方行政属即ち市町村

無の場合には全部がその通りに行かぬ、保険金を貰ふ期限は經過し これは國家として又社会として見 たる目で政府が國軍から金を出し かる野であるが、昨今の様に不敷が見付さて六ケ月もぶらついて居れば

とれてから久しいものになる。併されてから久しいものになる。併

はあるま

失業問題の對策

おける

単分は賦主が負鑑する、それから 取つてある勢働者ならば毎月七マ

【東京三十日發電通】六月下旬重

國民の負擔廿億馬克

| 公を訪問してロンドン会議の經過 | 三十日午前九時代を魚形に西願寺 | 三十日午前九時代を魚形に西願寺 | 三十日をに一游した君概全職は

学につき総意研究中であるが、右 特は電信兵、航空兵場用をも調査中であ る、耐してこの少年兵は十七歳の がは、大きの等殊兵種に は電信兵、航空兵等の等殊兵種に がなりの人が窓用について

それではこの一ケ年戦を經過してもなは職業が見付からぬ時はどうなるか、今度は「公共救衛」といるのに落ち込む、間は「毀兵救衛」と

が出来る響である▼

と云ふのが其の論である

州内設置の

吉海線開通式延期

同事務官

澤の

ておりする、今日この救助を受ける さてゐる者が約三十萬人ある、これ さてゐる、國庫から敷養を受ける さてゐる、國庫から敷養を受ける は昨年の今頃に較べると十萬人殖

運動繼續 兩氏居殘る

國際信託株主總會

東洋モスの總會

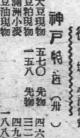
『東京三十日級取通』 國際信託会 社では三十日郷十九脚株主総會を 開き審聊練観金一千三百十六萬七 千七百十二圓その他を附編可決し







九級俸同(各通)



上類喜中地

院順工科大學助教授 原 源之助 大日方一司 知、近、要益、美00 要10 等/60 田來高 期近 三百三十八/4個 田來高 期近 三百三十八/4個 田來高 期近 三百三十八/4個 田來高 期近 三百三十八/4個 日本高 類對金 銀鴉洋 金粉洋 一時半 要公 11/2点 111/10 三時半 要公 11/2点 111/10 三時半 要公 11/2点 111/10 三時半 要公 11/2点 111/10

同縣院醫官 深井新太郎 中村富士太郎 源田 松三

五級俸同

七級條同

五級俸同

同事務官

定期後場公單位經

同觀測所技師 草間 茂登五級條同

關東廳法院檢察官

工科大學教授 今井

弘

短 种 二五五〇 七八五〇 出來高 二萬來 出來不申 出來高 二萬枚 二五五〇 二五四五 出來高 二三七〇 出來高 三千箱 果 出來不申 三二七〇 三二七〇

上級俸同 上級俸同 上級俸同

四級佬同 關東廳中學校教諭 今井 順吉

松田 信吉

大月末 元500 大月末 元500

成績かよいのに

間は自由と出事を懸へれば健全にてゐるがナカー~成績かよいのにで過去相スツカリ巣を高くし「人は彼かよいのに ssightで鰹釣などをやうと 飲鑑「むさし」の中に生活が、この内四十入ばかりを

で自数生は大陸四、五十二月書だで自数生は大陸四、五十四条者の官数

一、當和損失二十八萬五千圓處分 を百十七萬八千五百圓に減資す を百十七萬八千五百圓に減資す ること

内務局長の視察

察をなす由であるが即日園族の豫 で金州管内大房身及び柳樹屯の銀 で、中村廟技師「供の上自動車に 関い、中村廟技師「供の上自動車に

公所長事務引繼

滿鐵重役會議

毎週火曜に開く

見約一時間に宜り事務の呉耀をなる 「東京特電三十日登」古仁所前祷 東京 対電三十日登』古仁所前祷 東京 対電 において入江現公所長と曾 は いっこう いっこう は いっこう いっこう は いっこう

拓務事務官 杉田 芳郎

に上る自費生は墜査競技に困って

今昔ものがたり

(F)

時の職影を傳ふるもので、又以てであらう、蓋し何れも露園經營富 であらう、蓋し何れも露園經營富 であらう、蓋し何れも露園經營富 であらう、蓋し何れも露園經營富

今まで西方六十支里の復州域内に 繁陽も出來る、守備兵も駐屯する 繁陽も出來る、守備兵も駐屯する

鞍山體育協會

創立委員會

けふ製鐵部で開らく

協議される會則案

営時の規模の一艦をも終すること時の面影を傷ふるもので、又以て

の附近に於ける停車瞬は瓦房店の見る影もない町のやらである。此

の人口を抱握する大市街と化

第一條 本會は鞍山體育協會と稱 一條 本會は鞍山體育協會を則案は左の如し 一般 一條 本會は鞍山體育協會を則案

中 第六條 會長は本會を代表し會務 ・ 長事故あるとき之を代理す ・ 原記・ の選員は本會の重大事項 に関し會長の諮問に應ず ・ に関し會長の諮問に應ず

▲第四歲馬(新呼馬)千八百米一藩 ◆第四歲馬(新呼馬)千八百米一藩 帶五歲馬(春季抽馬)千八百米一藩 一章隆率、配當四圓十錢 三章隆率、配當四圓十錢 三章隆率、配當四圓十錢 三十八百米一藩 三十八百米一帝 三十八百米一帝 三十八百米一帝 三十八百米一帝 三十八百米一帝 三十八百米一帝

に依れば

云つた露で、二十五年前の野ヶ原

り露園の東清鏡道南滿州支線の工 事に滑手するや、大は露以南の線 事に滑手するや、大は露以南の線 路は大連に至る最近壁雕を選び、 路は大連に至る最近壁雕を選び、

満鐵の經營後

瓦房占前地事所長

西村秀治氏(會)

十年間に約二千人の増加

吾其下 ~

 (Ξ)

の敷設前

が

整たる荒蘂の一盆地で、今も壁る 変形方式ではない で、今も壁る 変形により他附近の所在に各数 で、今も壁る で、今も壁る で、今も壁る で、今も壁る で、今も壁る ではと 個へるがそれも定がではない だと 個へるがそれも定がではない だと 個へるがそれも定がではない だと 個へるがそれも定がではない だと 個へるがそれも定がではない だと 個へるがそれも定がではない だと 個へるがそれも定がではない では、 では、 の と では、 では、 の と

世間され、唐代に至つて安東都殿所に はおされ、更に明代になつては遼 が其の漫風で緊緊の姿もあるまい 地現等は此の地方が後の飛譜変東 や出めでは此の地方が後の飛譜変東

我軍が此の地方を占領したのは

滞鏤の經營に

外に得利寺、萬家織、熊岳城の三峰があったが其の歌月更に現在の際があったが其の歌月更に現在の際、大石線間の主要瞬として車輛機線係等の鐡遺營薬上必要なる認機関が設置され、一方には地

治三十七年五月で同月十四、十五 (国を確覧にしたのである。我軍の 此の地方を出録するや、野戦振興 がは直に其の事務を開始し、翌年 がは直に其の事務を開始し、翌年

型機、戦の十は 年 理の 占五 明

して観理係(今れ、一方には地

第二條 本會は體育の獎勵を聞る

暫は鞍山在住者を以て

は事務所を鞍山製鐵一第十一條、會長は製鐵所長之に當

着松翠、三濱凱琳、配當三國六 第金職(二分二八秒五分の二)二

副會長二名、評議員を置く

東那に於ける外人の法人組織の會 本に述し高等報判監臘の態度につき試験 大の情報による松花治製粉工場間 の證明書を得た上、支那側交渉器 人の情報による松花治製粉工場間 の證明書を得た上、支那側交渉器 人の情報による松花治製粉工場間 の證明書を得た上、支那側交渉器 大の登記をせる館社であること 大の登記をせる館社であること 大の登記をせる館社であること

●百米自由型 一等

熱烈を極めた決議

で新五五五四(大連市伊勢町角) 点解で御旅行の事は ヤバン・ツーリスト・ビューロー何でも御利用下さい

官憲の軟弱を糺彈し 警備の充實を望む 一千の邦人新公會堂に會し

夏の日も随きつくせる頃散會したでの日も随きつくなる頃散會した日脚長き 議

坑下道路上に勃發せる中國巡響昭和五年六月二十三日撫順大山 問題はいる時間はいる。 を会は二十九日午後三時十分より、 で変速で場において吉野(球)有川 で変速で場において吉野(球)有川 を変速で場において吉野(球)有川 を変速で開始されたが、 での出来よく福岡に安打二本を イムリ1ヒット六本をかり、撫軍タ

が消路の中央に車を放置・自動で、一中國人車夫の乗合自動車が同日午後六時大関奮烈性格異常――熙暗に感情で、一中國人車夫の乗合自動車が同日午後六時大関和五年六月二十二日邦人經營 昭和五年六月二 決議の理由書 閉酸五時十分

郷消局車と一戦を試みたる後闘路
列車にて即日離撫朝鮮で蟹に向ひ
囚に融端際事は十一時二十五分致 につくと

の變つた餘興があり翻象を喜ばせ相撲、驚愧し、飛込等本年初めて後一時からは更に林檎収り、水中

の變つた餘里も8 二等平林、三等ゴリゴフ 二等平林、三等ゴリゴフ 二等平林、三等ゴリゴフ 一等大田榮(五十秒〇四)二等關田、二等岩谷、三等西秋(三回)一等本等西州、三等松浦(二回)一等本 三等 四)一等地田、

支那會社法によって

爾

賓

登記せ

ぬ會社は

槍玉に上つた佛の松花江製粉

民事訴訟を起す權利なし

一等佐久間 不 一等前田(州七秒) 三等木戸 等が林へ一分十 等池田(一分四 れまでの電中飛躍が奏功し他に雷 して 地震される人物を出すや 頭をして 推薦される人物を出すや 東天商職の正職會職は膨大一日の 本天商職の正職會職は膨大一日の 本が雇谷氏會頭固部設で早くも石 れてるたしかし私利私態を築いこ なが、藤田派で暗中飛躍が試みら が成分氏會頭固部設で早くも石 の野支經濟関係の經過から を目離しても総局同氏が抱臓さ に適當な人物なく魔谷氏が離職就 に適當な人物なく魔谷氏が離職就

率天體育協會主催全素天水上競技 ・ 東漢大會は廿九日午前十時から奉 ・ 東漢大會は廿九日午前十時から奉 ・ 東漢大會は廿九日午前十時から奉 ・ 東漢大會は廿九日午前十時から奉 ・ 大一ルにて開催されたがおあっ ・ 大一ルにて開催されたがおあっ ・ 大田あり非常な感況を呈したが午 全奉天水上競技 豫選大會の記錄 ▲三百米メドレー ・ 一部 分卅三秒二)

會頭は結局 庵谷氏か 他に適任者無く 川野(四十七點)山

觀衆二千で大賑ひ 天 キレー 一等岩本(五等首藤、三等瓜田 育藤、三等 正等 音藤、三等 正 田

金剛山は育薬の分水嶺を

境に東側日本海方面を「外金剛」 其反劉奧地路りを『内金剛」外 東反劉奧地路りを『内金剛」外 東下海金剛の一支脈が海に沒し再び海 上に奇勝を現はしてゐる一帶を 下海金剛の一支脈が海に沒しても 可いが内金剛から外へ廻るのだある。 が途中萬物相や寒麓溪の名勝が を等から顧訓行を網へ廻るには長安寺から顧訓行を網へ廻るには長安寺から顧明、一直と高城に向ふ行 を表述べき現象である(寫眞は長 を寺がの第温化は大いに を表述べき現象である(寫眞は長 を表述べき現象である(寫眞は長 を表述べき現象である(寫眞は長 を表述べき現象である(寫眞は長

赤痢第一位

總務部 斷然優勝

開始した、メンバーは左記 開始した、メンバーは左記 大石橋 池田、森永、仁科 芦田、津田、淺井、山手、大村 金岩、今村、 中野、吉村、田中神部、柏原、港田 場は通難クラブ及は小學校講覧のる六日來録、獨奏館を置す出、入る六日來録、獨奏館を置す出、入

1 が戦を撃行すべく日下準備中で 地を見たが近く特戦の戦カップを 地として全機績の聴育ボール設備の完成以来。 近々擧行する

廿日奉中軍と

工、大元帥陛下に對し率りて 新建、六、宴會及模擬店、七、 数練、六、宴會及模擬店、七、 歌練、六、宴會及模擬店、七、 歌響省政府は今回民衆の理察機関をとして各縣各地に直常民衆の理察として各縣各地に直常民衆を設定したとして各縣各地に直常民職を登世して、経済に極力機助する事に決定し、各直端は其維持に極力機助する事に決定し、各直端は其維持に極力にないても野形の新職であったと言葉になるらしいと

入所生 農業實習所

合格者廿一名

熊岳城

職援戦も期待してる☆ 整弦心を誘ひ今後は連日午後五時 なり時を定め続間ある練習を開始 する事となつたから今後の進步を

開原小學校にては來る四、五の兩一定であると 世界の名勝「金剛」 探勝が樂になった 城

世 社で京元線際から内金剛山の探察は金剛山の探察から内金剛の入口長安寺芸で僅に五時間除の入口長の内金剛から外金剛巡井里に出る。京城から外金剛があり外金剛が出来る協同社会の内金剛があり外金剛が出来る協同社会の方程を表してある。京城から外金剛があり外金剛がありの旅が出来る協同社会の方程を表してある。京城から外金剛がありの旅が出来る協同社会の方程を表している。

関するの件に就き協調する域あっ では二十八日午後八時より電影協會 では二十八日午後八時より電影協會 では二十八日午後八時より電影協會 では一十八日午後八時より電影協會 命により延期された

創立廿四年祭盛大に行はる

を選手は非常に別して動力を開始した を選手は非常に別して動力を開始した を選手は非常に別して動力を開始した を選手は非常に努力せる機様であったためか を選手は非常に努力せる機様であったためか としている。 を選手は非常に努力せる機様であったためか としている。 としている。 としている。 といる。 といる。

連山關

第十九條 本會の經費は會費及智 第二十條 本會の經費は會費及智 第二十條 本會の會計年度は四月 一日より始まり翌年三月卅一日 に終る 第二十一條 本會を則の變更は總 會の決議を經ることを要す 日 青年歌では簡問として読力した鞍 山飛ば隊長今津今吉氏の長彩築邨 の送別繁を二十八日午後七時よりの送別繁と二十八日午後七時よりの送別繁と二十八日午後七時よりの送別繁と二十八日午後七時よりの送別繁と二十八日午後七時よりの送別繁と二十八日午後七時よりの送別繁報

窠

本第九競馬(古呼牝馬)千六百米一 本第九競馬(古呼牝馬)千六百米一 一着明石(二分九秒一)二着電光、 三着比叡、配當三圓三十錢 一灣白雪、配當五圓三十錢 一灣白雪、配當五圓三十錢 一灣白雪、配當五圓三十錢 一灣白雪、配當五圓三十錢 一灣白雪、配當五圓三十錢 入所を許可せらるユニナー名は左腕の結果、郷三排實殖生として合格能岳城農業質習所に於ける入所試

四宮陣文郎、岡山)高橋建造(新原)計画(長野)赤塚軍光(鹿兒県)小大野正藏(菱城)及川镇(岩手)小大野正藏(菱城)及川镇(岩手)小大野正藏(菱城)及川镇(岩手)小大野正藏(菱城)。

橋

小學校者中休暇 常地支那能企業は来る十五日よ り入月十四日まで髪甲休暇を覧施 する由なるが日本能小學校も右と 同期間を髪中休暇とする密 イーモニカ獨奏會 輸入臨時總會 水泳競技會

を同校講覧に外で七夕音樂館を催い音樂館を催すことへなったといるでは、 アーモニカ 演奏 會

來る十三日に

開

原

由を附して抗躁した、其れで交渉、由を附して抗躁した、其れで交渉、のの抗躁害を強付し囲脈を傾いであるが未だ回答がないと云はれてあるが未だ回答がないと云はれてなるが、然し若し率天省政府も用京

とは禁止する旨の通告をした 車に病人の附添なくて乗車する 東線營業課にては一般普迪旅客 **管理局の定例會議は七月三日に**渉

支外人の經濟版商行為は危險この 事件の進行を防害するに至れば在 事件の進行を防害するに至れば在

江

開康水派ブールにては七月十三日 開康水派ブールにては七月十三日 所戦戦係へ申込まれたいと クラ音楽會

會を催す豫定で會場及び時間は未 「原にては死月十日へ」を三カ滅突 原にては死月十日へ」を三カ滅突 のでは死月十日へ」を三カ滅突

法令を

うへなく

其の成行は

注目されて

ある

⇒ 電地硬式庭球俱樂部では廿九日午 で在案各チームで盛大た優勝旗争 で在案各チームで盛大た優勝旗争

京

流行衛地方に

の奇病

東織貨車で昨年中に損傷し使用に 地へられなくなつたものは總計百 六十九貨車、そのうち繊道で損傷 したもの七十車輛、六十九額は露 として至難である 警察當局に申告した
警察當局に申告した ▲田村元興業部長 廿八日來率 九日來率 九日來率 《青柳鐵道部人事主任・廿九日鄉 朝大連より來率

一個大学 では、 一の大ととろ、 一の整理 では、 一の大ととろ、 一の整理 では、 一の大ととろ、 一の整理 では、 一の大学 では

▲ 展龍潭氏 廿八日灰奉 ▲ 東京帝大農學部學生一行十六名 廿九日撫順へ 大(蒙古王會議長) 廿八 春より來奉醫專野球團一行十八名

線と連終することになって観光客

安東の臨時競馬

初日から大いに賑ふ

對抗陸上競技

大石

職し、共祭會設立の件も併職する 會を開催し定族の變更について臨時機 動職入組合では今一日午後七世

| 秋季海駒會費五〇〇圓・野球部五〇圓、競技部四〇〇圓・柔劍道部四〇〇圓、水上部一五〇圓、庭球部五〇〇圓、弓術部三〇〇圓、試球部二〇〇圓、水水部二五〇圓、草球部五〇圓、 七月一日から八月末日

南部野球戰 中質を左の如く鳴影すると 安東より五十銭 ▲ 政策者をのためた 十五銭 ▲ 石下より三十銭 ▲ 松幌 より二十五銭 ▲ 良策より四十二 より二十五銭 ▲ 良策より四十二 東軍軍職事場所は

粟野氏等赴任

愈よ火蓋を切る

島谷氏轉動

不成績

数数、この夏を期してバルチツ

が附属して、このロケッ

ットは鋼鐵製で高さ七呎、

月世界

信○通◇外◇海

通信の新計畫

力が無くなると同時に落下傘は自力が無くなると同時に落下傘は自 これがためにロケットは地上に急 透力で落下し来り、他の物際に 混合物の爆殺力に依るもので水素 たロケットの推進力は特殊のガス が主となつてゐる、その際ガガスが主となつてゐる、その際ガガスを を関係した。

鼻歌禁制

シカゴの話

鋼鐵製のロケットを利用

獨逸でオ教授の試み

の試みで、そのロケットが直ちに

突進力を

▲少學字復習讀本 本の編輯委員入被則吉氏が自學本の編輯委員入被則吉氏が自學本の編輯委員入被則吉氏が自學本の編輯不必要など 精體に感じがよい、內容、組方 共に一學年の讀物として申分が 本い(菊版東京開成館被行裝幀 普通價六十錢)

●童話讀本へて、こ、三、四普通價六十銭)

本年 三二十十十九 月月月月月

入九九九九九九九九九九九00一四八九 九00一四八九 大三二九八三三

B

上の最低である。

ブレッド・ライン

世界的不景氣

株式の恐慌で した例は悩みに盡きないの

――便途は未だ明らかでない。

大變役に立ちます。

(定價二十錢)

サイス であるがこれも左の通り下つて ・大統式は勢働省で作ってある。一 ▲少年少女讀物まんち 電の闘み物が膨高された 電の闘み物が膨高された 教専内研究會で發表

推薦讀物

失業者の統計

ゆり あ) (春夏の巻、秋多の後) 満洲母生讃物研究會教科書 傷闘部の石森延男君の著件である同君の作品には常に清新な知が漂つてあるる珠に講別に即した 眼前の事實を捉へたものが多いので見童には大いに歌迎されるであらう、特に良い讃物として 推薦する、小母三、四年から高 學年までの讃物である(菊版装

耐酸行四六版 るへ澤田謙著 るへ澤田謙著

五、六年生……六册)日本電話 を主としてそれにグリム、イソ ップなどを適宜採用してゐる、 文體も描寫體、叙述體等種々あ るがよく話の有つ色調にふさは しい工夫がなされてある(短米 古著岡田女辞堂版四六版装幀者 古著『五十巻》 英雄傳 ブリユーター

以内のことは深らずるものは深らず

(四)

公共事業費に

十億圓を

失業教濟に大統領が聲明

米國の深刻な不況

か、 校さかを卒業して、

再び運送業者に 一度――保護と云、程の事もないでしよう、斤量器一豪に事務員一 一度――保護と云、程の事もないでしよう、斤量器一豪に事務員一 一度――保護と云、程の事もないでしょう、斤量器一豪に事務員一 一度――保護と云、程の事もないでしょう、斤量器一豪に事務員一 一度出る、斤量器一豪に事務員一 一度出る、斤量器一豪に事務員一 一度出る、斤量器一豪に事務員一 一度出る、斤量器一豪に事務員一 一度出る、斤量器一豪に事務員一 一度出る、保護と云、程の事もないではこれをなんと見る?疑然たる片 に、呼ばかり大きくして實行件は だ、際ばかり大きくして實行件は だ、際ばかり大きくして實行件は だ、際ばかり大きくして實行件は だ、際ばかり大きくして實行件は だ、際ばかり大きくして實行件は でしとの命令何處に遠慮する必要あ りや、悪しきものを悪し、改築するの充滿せる小 と言ひたい、映畵館なんて登澤である) でしとの命令何處に遠慮する必要あ りや、悪しきものを悪し、改築する必要あ りや、悪しきものを悪し、改築する必要あ が一日も早く改築命令を設 なりや、一日も早く改築命令を設 なりや、悪しきものを悪し、改築する必要あ りや、悪しきものを悪し、改築する必要あ が一日も早く改築命令を設 なり、でしたの命令何處に遠慮する必要あ りや、悪しきものを悪し、改築する必要あ が一日も早く改築命令を設 なりや、悪しきものを悪し、改築する必要あ が、のか、一日も早く改築命令を設 なりや、悪しきものを悪し、改築する必要あ が、のか、一日も早く改築命令を設 なりや、悪しきものを悪し、改築する必要あ なりや、悪しきものを悪し、改築する必要あ が、のか、一日も早く改築命令を設 なりや、悪しきものを悪し、改築する必要あ なりや、悪しきものを悪し、改築する必要あ なりや、悪しきものを悪し、改築する必要あ か、結婚の場合こか、 人物試験がある。 いろし その参考には「體驗を語る」 大學とか専門學校こか中等學 (の場合に、 或は人を訪問する場合こ 就職の場合。 世の中には 或は平生

男も女も斯 うありたい

くなるか。 犬こして妻として、どうしたら 一家が明るくなるか。一生樂し 平生の心得、家庭教育の心得

れば必ずこの世が極樂になるこ いふ事が『體驗を語る』に書いて 物質的にも精神的にもかうす

ります。 があります。それ等が丁寧深切 に『體驗を語る」の中に説いてあ 之には急所があります。

無刺動性にして目編帶の必要無き

のるりり制産青

プ入 二十五段

他に

侯症應適

生活者でも異數の發展が出來ま 語る』に書いてあります。 0 秘訣が誠に判りよく『體験を 間違ひのない出世の道、 「醴験を語る」定價二十銭) 幸道

I O B

ワツミ

(四 版 四)

のミツワ河絵本舗 丸見屋商店



星 最尖端 0 級 飲料 大連市
築町
上

缺ぐべからざる 毛糸、 毛織物、 絹物の洗濯に 必需品なり

墺國リヒ・クリンガー會社製

リット

1 準 チ

人荷在庫豊富

東京文化貿易商社

總代理店

元

ク

ンガー ンゲ

ゲー

ージ(水 ジョイ

計 ン

ゲージグラス(水準計用硝子) 多小に拘らす御用命を願ます

ルセル)石鹸同質の傾良品にして使用至つて軽便効果極めて超大なり

桶洲石鹼铁式會社 店にあり。 毛糸店、薬

愛酒家 速大 辻利 E to

吞

め

2

番六七七四・七八三三話電

質受牌賞譽名會證博各論

樽に吉野の甲制樽る

酒は伏見の高級銘酒

For All Find Laundering MANCHURIA SOAP MFG.COLD

と云ふに

一群

日

初夏の陽に映にる

その原因を

霊成したの

(原向といふものがある、これは でで、この際戦闘の者に際戦闘で をある、この際戦闘の者に際戦闘で を表する。この内で最も

思つた時にその對照物が少年に取 である、家庭内で自分が欲しいと

犯罪を氣樂

に單純に行

マー満洲に

も暑い夏が訪

けて來ることでせら、又學校からも程なく星ケ浦や夏家河子に出か

一緒に行かなくともお父さんやお

菓子が茶堂に出てゐる。 金が手

質者には如何なる型の者があるかのたやうな事である、この精錬型のたやうな事である、この精錬型のためにと言いたからか言を聞きたくないと言いたから、そして犯罪を犯した時に

派を始めるでせうし没続の各學校は近日中に夫々の場所で水 等學校は近日中に夫々の場所で水 等學校は近日中に夫々の場所で水 が変がは近日中に夫々の場所で水

母さんにつれられて

と一緒に没ぎ

が冷るため血管が一時に織り、心します、最初から飛込んだりするのはいけません、それは急に身體のはいけません。それは急に身體のはいけません。

性は餘程鋭くなつて居る、機能や音や低いに離する官館のもいという。

身を投じながら一方内容の充

に行ったりすることも多いと思ひ ますから水泳について心得て居な

臓に思い影響を及ぼすからです。

いて見ませら、

先づ水泳の場所で

又飛び込みをするにしても水底のります、だいぶ前でしたが夏家河で一人の青年が鶴の引いたのを知ったので知込みをした、め底に頭

や緊
器に對する
感受性も
暗
生活中に現はれて居る
各種の 居る、理想が高ければ高い れば鷲崎的感受性は鋭敏に動

下宿 場所理徳 得開静な 皇家族

宿

らばどうして電面もなく醸取にや自分のものにする、一般に砂照少自分のものにする、一般に砂照少

五、精神與質者 三、精神與質者 三、精神與質者

こんなことに

水泳の時節が來た

氣をつけませら

ひとりで行くのは危険です

が騒い爲め人目をかす

少年だったら数にねだる

心につたら親にねだる程度であ

最近少年の

こ、精神變質こ、精神變質 **とうして發生した砂能少年を分類** 簡単に取るやうになるのである。物品を勝手に何の憶する所もなく

躁欝病型性格異常 折々の氣分に影響され易い性ヒステリー型性格異常――その

性格 に走り易い性格 の性格 の性格 といつたやらな者の性格 といつたやらな者の性格 をいった。 気の弱い人間の性格 気の弱い人間の性格 たら無茶苦茶になる性格 格異常一

やたらにしをせねばならぬ

遏型性格異常 ・グラシない

- 物事に無頓 常に不安狀態にある性格 際病後性格異常――向きになる ◇第二群 6 5 4 3 你有學 我不要 例

者も以上に擧げたやらな性格を具 若も以上に擧げたやらな性格を具 を含む場合があ れには色

やたらに沈ん といと

見た奥さんは感心しなかつた、と言ふよりも寧ろだらしなかつ何時も朝からしごき一つで赤ン坊の傍に襲そべつてゐた。裏か何時も朝からしごき一つで赤ン坊の傍に襲そべつてゐた。裏か ---XX H 地明

4 私は持つて居ますか

2私は要りません

2 110 p 8 7 他 我你 我 他 要 7 他 他 他 他 要 7 S

支那語初等科

秩父固太郎

課

ラデス

満

商品

は一回全献拾銭増 金 六 拾 銭 金 章 園五拾銭増

實印

の御用命は

B

大田家高病院 電呼出七八九二 電呼出七八九二

話七八五九番

臣

電力 電力 不要の電話別金高價質入 不要の電話別金高價質入 不要の電話別金高價質入 不要の電話別金高價質入 不要の電話別金高價質入 不要の電話別金高價質入 不要の電話別金高價質入 不要の電話別金高價質入 不要の電話別金高價質入 である。

10世方彼の人にお遣りなさり私は彼の人に選ります 4 吾々共々(自分と相手の 4 吾々共々(自分と相手の 人とを合はせて吾々互に 人となるはせて吾々互に

外務 院自 慢の接続負採用自維履 石代町黒ネコバー電話三三三二十名急募集

女給 今回改樂に付 女給 数名八用 大連春日町電話五九九五番夜明 大連春日町電話五九九五番夜明 大連春日町電話五九九五番夜明 一 若狭景電二二四九四 一 若狭景電二二四九四 フョ ウ品書鑑骨董 七四三五 不用 品高價買入宿轉次第念上 電話三九一四番 電七四三五 常経勝河島ミシン店電大六八四 常蛭町 渡邊商天 電六八四一 常蛭町 渡邊商天 電六八四一

品親切本位買受

日盛町 たじまや電六六〇一番 古漁具高價質入

うるしぬり新年修繕・途替製作所大連、後継・途替製作所

賃衣 裳

さかひや 電五四三七 である。

事門のヤナギヤへ

位本

語三五三番

店

実確

寫眞

安那服の準備有日本編際で野服の準備有日本編際

第一階次等多上致します をの赤マ 大野間、大瓶四間、贈く程効 小瓶三側、大瓶四間、贈く程効 小瓶三側、大瓶四間、贈く程効 ・瓶三側、大瓶四間、贈く程効 ・ は飲歌迎 西公園町五七 ・ 共濟家 電話三六六三番

正

时藥気脚子:乘灌

藏助中田--師剤藥

英文 後邦 四○番地 濱 田 英文 後成並 瀬印県 英 3 倉 田 大連市大山面 小林又七支吉 及を記録。 を変し、 をでし、 をで、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をでし、 をで、 をでし、 金龍 銀生命保險證券に限り金

町貳番地参號(ガス工場前)領川洋服店の領依顧モ)入船の 発服店の領依顧モ)入船の

・キッ精工会電話川川六四

野中醫院

信用 オペガー九七 吉田電五〇一三 着映町一九七 吉田電五〇一三

沙河口仲町九一 向上社沙河口仲町九一 向上社 大口小口迅速金細美濃町大口小口迅速金細美濃町十年社 電話七八八一番 EP

第三〇五四但馬町七紺善染工場へ 山形洋行 電三〇一五、八六八八 山形洋行 電三〇一五、八六八八 東拭印入れ等の御用は

施行

田部井 電話三九五三

牛乳 バタークリーム 満洲牧場 電話六一三四番 大連牛乳株式會社 中記 なら大正牧場 伊勢町 電話七七七11番 九四八四番 電話七七七11番 九四八四番 では、八八四番 三河宝 習字 速成教授畫夜 古野町 電話四六二七番 電八六七五

ラデオは何でも大勉强 おおお 高級 原系品 品郷修理 電話八七二二番 高級 原系品 品郷修理 電話 八七二二番 一回五拾銭

科兒 入院應需 標础三町野吉市連大 院医原桐

一九二四話電 ホネッギ

校 唐 競 競 大連市吉野町ニ五 剪司公記政 饱番工工連部监 大神的==·電缸to 山陽商台

堀井商 大連正隆 筑後屋質店

濟生醫院 文 性 淡原生殖器病 病 (森) 皮 電話セハホセ・

一般大舗 条治療所電七八五〇番 を目町十一向陽門停留大タク前 の標在やむ万は御來宅下さい 神經痛、かつけ、胃腫、小兒飼 神經痛、かつけ、胃腫、小兒飼

パッキング具 ゴレクミグ 鳥屋ケー

日命の艦跳によつて火部に共の勢力が一般がは多のショールと相談して映かされないものとなりました。一時パーカーのですが最近では純日本風の増加して映かされたのですが最近では純日本風の増加して映かされたのですが最近では純日本風の増加して映かされたのですが最近では純日本風の増加しています。

● りと初二重との二種あるが模様は いほど値段も高い、生地は総紗県での多いのが勢力を占め、骨の多いのが勢力を占め、骨の多 力範圍が置食され繪日傘全盛とな

艶美な繪日傘 本年も骨の多いのが流行

つ折りとなり、機酷には魔る便利 ▼▼…糖は限のついた的であるが 大概のものが一般に喜ばれる、 がであるが一般に喜ばれる。 に出來てゐる。

得ない自然の要求で人性の反大慰安を欲求するのは實に止

無趣味な植民地生活を爲す者は益に慰安を求めるやうになる、殺伐

▽必然△ の総果として

直射せぬ處で靜かに休憩し、耳に水泳を終えたら鼈を拭つて日光の

かず線で吸取るやうに注意する事 が肝心です、水泳に行くのにたつ

つて明日の紫海に就かんとの

壽司

電話三三人五・三六七八

五字 ニュトロダイン 対闘品付百 点質より百五十週迄 一九九九、定任一屋 一九九九、二二一面園

薬は

ヒシカワ薬局

ラヂオートヤマ別館

するは何で

電話八七二二番

一種自然の本能に願られるは

学館の思ひを静め新しき構力 に紅燈線酒の味はひに依り僅 あると思ふっそして時に狭い

金庫

讓大型一個 而談 電話可

牛乳 なら大正牧場

たひとりで出かけたりする人があ

を觀る時質に思ひ学に過ぎるの我議洲と云はず植民地生活の事

ある是等は果して喜ばしき田

三十分、

すが、水がきれいで流野騒く、波水草、鼠、岩紅等のない所がよく水草、鼠、岩紅等のない所がよく水草、鼠、岩紅等のない所がよく の器い日がよく

事の後はよくない、登島性の人、 ・ 主要ないが、勝しい電影や、食品を変ないが、勝しい電影や、食品を変ないが、勝しい電影や、食品を変ないが、からば簡単の人、 ければなりません、それから耳ににつめて行ふととが大場です、水に入る前には先づ手で、水 は十分注意をして永ぐやらにしなからだの弱い人、神經費の人など

「市設音樂隊」の 立を提

諸君觀給へ、我が大連には

立脚點から見ても決して等

ラ是等人 は質に社會教育の

産婆 内山ョネ 他登町六七 電話三〇四九番 電話二二三八七番

待合を家町まる六二六番地

公園内満具野球場に音樂堂が設け、社會施設としては電気遊園と中央

古本

西公園町六九 雷

歌を吾人に離して臭れるのは常然 本市長を始め終野市長時代にも は武へ成快に堪へない次線であ をは云へ成快に堪へない次線であ であったが遺域ながら一つも す酷化する逆に至らずして騒き滑 されて仕舞つて來て居る、少し失 なので自然冷談脚するのに無理解 なので自然冷談脚するのに無理解 なので自然冷談脚するのであらふ と見え内地新聞は顕繁に此の報。公設音樂縣設置の機運が到來し 我採の徐大都市に一 種の驚地を感ずると云つた傾向が如く感じ音樂に就いて語る事に一 したりするは大雅を犯しでもする したりするは大雅を犯してもする 大雅を犯してもする はランド、オーネ、ダス、

でも無ければ時期命平などム云つと云ふのは決して悪口と語りはりと云ふのは決して悪口と語りは受取れない、私は思ふに最特置繁 マ今日△ の局政者職氏懲ら 有りはしまいか、西洋の人が日本 本位を捨て、後進の人々の

スふ事は明らかに一大矛盾であら ねばならない、此際市民語

日は一つも有益に利用せられて居 る大連市、グレート大連を以て低 市として市民一般の爲め何等 ないのは承知の事務である。

▼國際 本部を贈らんとす

られて居るが然も公園の風致の質 めに名目のみの音樂堂で實際に今 染物

の御用命は大連一の老舗 の御用命は

此印に限る 電五四三九 を精 朝鮮總督将官製 電話八二〇三番 報治御望みのちょ 療治御望みの方は

婦人 病大連二薬町六〇 大連二薬町六〇 クサ 効薬有ます 対薬有ます

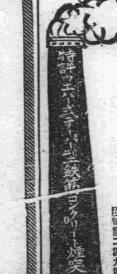
白帆

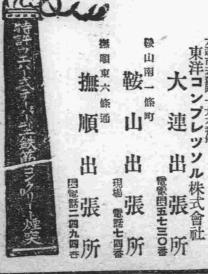
助印に限るに関る

大連四通・常盤居・西廣場中間 電話七五二八番



自動車用品 格安中古品在庫 クライスラー・デソ プリムス・其他各種 稻 機器大多四八八五章 機器大多四八八五章 垣母洋







「あ」、さうですか、それであた

も安心しましたし

でいた。 酸子は、それとは繁がった。 酸子は、それとは繁がったのな部屋で眠つてみます」 か言ひにくさっに口の中で凝してか言いとくさっに口の中で凝して

然し小夏ちゃんは……?小

?小夏の然

これ位の事です

でうかしたのですか、小夏ちゃ

かしたのですか?」

どうしたと言ふのです。

いといふのですか?それ

たのである。

「あゝ曲鬼子さん」 海子はその離を見ると、何がな 世鬼子は爬に泪さへ浮べ乍ら、部 かにベットの雌へ歩みよると、優。

をすっかり日電の落着きを失って をすったので、さすが無丈な彼女 をすったので、さすが無丈な彼女 をすったので、さすが無丈な彼女 をすったので、さずが無丈な彼女 をすったので、さずが無丈な彼女 の耳の中に何かを

こんでのでは

大くには、強い硫酸を十一流になり、 を表す。一分間でよの機物の頭にかけ、 を表す。一分間でよの機物の頭にかけ、 を表する事が観点とて来ます。化合しない は、その後数けの根のはにない。 は、その後数けの根の面にかけ、 を用める法に関ります。 は、その後数けか生き物は、 を別してが、では、 を別して、 をので、 を別して、 をので、 を別して、 をので、 を別して、 を別して、 をので、 を別して、 をので、 を

本容器に指へられなければなりません。 本ないら水分を吸收して、その結果溶 では、無水気を吸收して、その結果溶 ではカルシウムの方がすつご宜し ではカルシウムの方がすつご宜し ではカルシウムの方がすつご宜し ではカルシウムの方がすつご宜し ではカルシウムの方がすつご宜し ではカルシウムの方がすつご宜し ではカルシウムの方がすったとで中は は、無水気に投立ちますが、に ではカルシウムは響いされたが では、まする。 しいのであります 容器に貯べられなければなりませい。 麗化カルシウムは密閉されたりませい。

大和國生

田市山縣

支

店

は、 ・ は、 、 ま、 、 は、 、 は、

威權

又

0

界

ケンネット號

844

なる。

車轉

B

號ナイ

自

THE KNIGHT CYCLECT

A

観ナイ

マリア石織の様な優秀な石織があり、 日本の関産にも、管質に於ては、 日本人の皮膚の でき起いて居る で に親切な研究の行き起いて居る で で で がらないどころか、日本人の皮膚

程高價になるものではあり

立が盛たとか云ふこさで、いいれがないとか。 が盛たとか云ふこさで、

-<u>\$</u>-記様ない

ヴィタミンABCE含有ころばぬ先きの杖 イタミ

高砂工業會社製

がいます。 ラデオード、利力・リンコーム 代理店 単領 高店 楽局 ・ラデオード・カルシューム 代理店 単領 富 楽局 ・ラデオード・カルシューム 代理店 連鎖商店 楽局

鲜满總代理店 餘战 進

御一報次第型錄進至可住候 电站 人二二 商會

に遠ひないのだ。あの幼い無形電ではないか。軽表――?いやいやではないか。軽表――?いやいやではないか。軽表――?いやいやではないか。軽表――?いやいや モニウム五ポンドとホーガート・スカートであり、芝生モフィート 雑草を除る傷に、特に歌公 郷草を除る傷に用るられます 変を除る傷に用るられます が、四百本が吹の芝生 ない。混ぜ具合で

ーポンドを砂に混ぜて、こ の特殊の平皿に用るます。 1三週間の間を置いて種々 なものを用るなければなり それから硝酸アムモニア



●實質第一十十十章し 解来不能が、親た眼に一寸す宜し解来不能が、親た眼に一寸す宜し解水石酸の高質なのに、お用ひになったがおありの高質なのに、お用ひになったがおあります。質素な包装と香料さの高質なのは、照料の選擇、配合、工程と質は、原料の選擇、配合、工程と質は、原料の選擇、配合、工程と質は、原料の選擇、配合、工程と 高い朋芽率を持つ様になります。

標 な 録 要 か下す 新ねはずどげ 子がい印カラノモト

夏

好評 美味滋養薬 肝油カルシュー・ ・ おいているのでは、大理石工場 ・ はいているのでは、大理石工場

の御用は南端大理石工場の田石材店大理石部へ

月 見本入用の方は 野界二十銭を要す

割癌治草藥 薬るな奇次食い 神念シム効し道が 目なりなる

婦産内 近志 醫院 科科科

叠經田唆 險保 店理代說洲纖 深回 部險保

一五一三曜 9 通縣山市連大 **~所店资最、命用湖ノ地谷線沿◆**

棋式會社 特專 品產國 許賣 愛 耐寒防水覆布 女男 各訓 兩作 夏學生 種 洋 宝服 服服 羽服 内家 化理合業 238 161 162

图

番三四三八話電 努力 実 算

前門正場市町濃信



級高

神仙 松集食 (松の翠)神仙 松集食 (松の翠) 榮 眞正 養 0

空察診男岩 空察診科保

肝*

伊滕幾 川亂步作 久造畵 (129)

(六·五)

がりこんだ。すると突然、脳が暴力で大型である。そこ迄はよくかない。それにしてのである。そこ迄はよくたのはこの病院の中である。それにしても、今度氣のついたのはこの病院の中である。それにしても、あょ、あの外の事情がありたら、今度氣のついで変響のたら、今度氣のついで変響のたら、今度氣のついで変響の上へ避ぎ直つたら、今度氣のついで変響の上へ避ぎ直つた。とそれにしても、あょ、あの小夏の時職が開いて、群かに出き直つた。とそれにしても、。 家庭科學

のみこんだ。

あの小さいお綴さんです

と聞かれて、馭者はハッと極を

を減ずる役に立ちます。硫酸アム一對に減却するには、硫酸が一等宣統酸アムモニタムは水の中で酸石炭酸か、膿酸が叉用のても監統酸アムモニタムは水の中で酸石炭酸か、膿酸が叉用のても宣布に強えて來ます。

は一般に知られて居ります。 斯うな 本モニウムを加めの根のまはりの土を 硫酸ア とれとも植物の根のまはりの土を

不思議によく効く 肺尖の薬を

据 替 穴 阪六三0三八阪市四區江月城北通一丁目

京を変える。 食器店・白木屋其の他各百 間五拾錢 0 調五六三九二一案新用實

中一河町八

告

. 兒幼. 兒乳 幡 程中區車電町港信市連大番九五八四話電

岳 熊 娛樂の設備あり 驛より乘合自動車 の便あります

ホ泉溫

物質

協調ではこの試合に備へるため る七月六日全浦へンデイキヤ歌した、なほ第一回選手創設 選手を同レースの選手候補者 ース終了後奉行されること

三門全國少年野球大會 けふ午後一時から満倶球場で 回滿洲豫選會

朝 日 校上伏見臺校第一次戰

選手候補決まる

對慶大戰に備へて

満洲體協で發表

曾ではその後三浦曾長以下御二百八十一人に及んだので、

者の敷容だけでは宮縄があがらな 間連續するもので一般だ、また一方標準的院庭方法とし く完全に免疫されるので一般では保 蘭者の陽 離をも開始し れば何等苦痛を伴はず脈作用をは保 蘭者の陽離をも開始し れば何等苦痛を伴はず脈作用を、 無暇、安東、大孫樹 は二日連續でよい、この万法に 満鐵衛生研究所で薬品製造 近く一般に配布する 上競技

Ħ

は、 を好まない傾向があるので本年は を好まない傾向があるので本年は を好まない傾向があるので本年は を好まない傾向があるので本年は を好まない傾向があるので本年は を好まない傾向があるので本年は を好まない傾向があるので本年は を好まない傾向があるので本年は を好まない傾向があるので本年は を受けると、
郷口覚疫法は を解するものでも歳以下の小人 に免疫されるので一般に職等害痛を伴はず厭作用もない、この方法に依 地域でよい、この方法に依 の魔三十日午後一時中小石川區原海軍大將八代六郎男は飛て病氣中海軍大將八代六郎男は飛て病氣中

表につき畏き過りでは特に功勢を【東京三十日發電通】八代大將逝 思召され左の通り 叙位叙述の御沙

等功三級男爵 田 司令長官第二艦隊司令長官海軍大 歴 単校長舞鶴鎮守府司令長官として出 原 中再び第二年海軍大臣となる日露戦争 中再び第二年を持続の功により旭日大綬章を授け られ大正三年を月勘功に依り特に られ大正三年と月勘功に依り特に られ大正三年と月あ功に依り特に られた現補せられ同九年降備役に編 本 入され其の後文政審議會委員とな 入され其の後文政審議會委員とな トニニー経験司令長官として出 時に親補せられ同九年降備役に編 を 入され其の後文政審議會委員とな

緊縮ポスター 圖案當選者發表 女學生二名が一等の榮冠

逃亡し

滿洲公私經濟緊縮委員會

長春三十日愛電通』十九日午後 七時写書地梅枝町の賦入金東方へ一世人が訪れ戦戦戦かの職人金東方へ一世人が訪れ戦戦戦かの職人金東方へ一世人が訪れ戦戦戦かの職人金東方へ一世人が訪れ戦戦戦かのの職人金東方へ上もり先き戦人料理店大成館方の即数として口を繋み居たがこれより先き戦人料理店大成館方とり、即歌同機大成館方とり、即歌同機大成館方とり、即歌同様大成館方とり、即歌同様大成館方とり、即歌音を表表している。 不逞鮮人 長春で逮捕

本宝日を上いて 大きしてもた最低の既認を否定として一件事類が、対してもた最低の既いせからを認定しています。 一十日午後の時期来が、を主張し数章を否定したが、耐来数日間逮捕の際受した目を自じたが、対した目を自じた。 一十日午後の既いせからを数した目を自じしたが、耐来数日間逮捕の際受した目をはいます。 一十日午後の既認を確認した。 一十日午後の既認を確認した。 一十日午後の既認を確認した。 一十日午後の既認は、 一十日午後の既認は、 一十日午後の既認は、 一十日午後の既認は、 一十日午後の既認は、 一十日午後の既認は、 一十日午後の既認は、 一十日午後の既認は、 一十日午後のの既認は、 一十日午後の既認は、 一十日年後のの既認は、 一十日年後のの既認は、 一十日年後のの既認は、 一十日年後のの既認は、 一十日年後のの既認は、 一十日年後のの既認は、 一日にいまする。 一日にいまる。 一日にいまする。 一日にいまる。 一日にいまなる。 一日にいまなる。 一日にいまなる。 一日にいまなる。 一日にいまなる。 一日にいまなる。

勝山洋河

が多かつた、なほ各校別に対のて小塚生のものに奇媛の歌では中等圏 事な技能を發揮してゐるものがも遜色なく殊に中等壓生の作品は見 一日より離空飛行の新記録を作るべく飛行を続けてゐるシカゴ號は 本日午前六時一分(サンマータイム) 送に既に四百二十一時二十一 ム) 送に既に四百二十一時二十一 本日で前六時一分(サンマータイム) 送に既に四百二十一時二十一

中萬弗の賞金を疑べる等である なほ右シカゴ酸はハンター家の 五人兄弟の壯澤に係るもので操 縦にはジョン、ケネス爾君、燃 料補給はアルバート、ウオルタ ーニ君が搭乗し妹のデイリーニ を関係したのでは、 がは、カースのでは、 がは、 のでは、

本政統憲帝主催の映監『この母を本政統憲帝主催の映監』『この母を見よ』の上映日職賞募集は日活闘の上映日職賞募集は日活闘 出選者 計四十五名

六月廿 五日 より



原京三十日愛電通」宮中紅葉山 前八時より東京蹇職撃校教婦銮成 前八時より東京蹇職撃校教婦銮成 所より選ばれた四名の生徒に依つ

防火記念日 けふ小崗子で

でんな不正事件があらうとの取調べをうけてゐること 之は各學校で豫選を行ひ際にはで

耐空記錄 人兄妹が

「東京三十日愛電油」 (東京三十日愛電油」 (東京三十日愛電油」 (東京三十日愛電油」 (大と會見したが、星 (東京三十日子後歌中のたが、星 (東京三十日子後歌中ので一同席を聊って港川との自己を展りの報に離場では一大を野町の野議・大きの手をではせるとを呼り、 同版にがおいて (大き) は、 一日 (大き) は、 日 (大き

所長理學博士村上飯滅氏「減州の鑛産資源」減鐵地質調査

中華青年會祝賀式 ・ 一年青年 一年 一日 が同會創 ・ 一年 一年 一日 が同會創 ・ 一年 一日 が同會創 稻垣留吉絶命す

世 1 界 各 名 图 名産 漕 類 料品品 Щ

運送業組合の 事務所搜查

古い業務横領が發覺 審查所感

今度の闘家豪集は全場別の歌島にあることを周知せしめ且つ之が打開 に緊縮の急称なることをその脳狸 に緊縮の急称なることをその脳狸 學務課長談

北浦及び蒙古方蔵に入り込んだ時 地を深刻を等は益々悪化して時職と化 最近彼等は益々悪化して時職と化 ので支那戦に追はれながら興 には一味は麒麟を作つて哈克を襲 して掠奪を行り馬城にも劣らぬ が、ので支那戦にも劣らぬ が、ので支那戦にも劣らぬ は、か、が、

星製業争議團

定時に動きには七月二日第二回 定時に動きには七月二日第二回 を構験が和雪館では七月二日第二回 を構験が和雪館で記念講演會を開きになった事は野報の通りであるがその瞬目は左の通り決定し何 れる灯燈を利用し平易に興味ある を機能であるから一般の のであるから一般の のであるが のであるから一般の のであるから一般の のであるから一般の のであるから一般の のであるから一般の のであるから一般の のであるから一般の のであるから一般の のであるから一般の のであるが のであるから一般の のであるが のでからが のでからが のでからが のであるが のでからが のでからが のでからが のでからが のでからが のでからが のでから

「満州日報」が満蒙開發の 大幅として、其の使命を果 大幅として、其の使命を果 大幅として、其の使命を果 大幅として、其の使命を果 公正社事業 言論 郡(出版其他)

沙皮 科毒 專



かる丸が、渠し代船あめりか丸が 一日避れて來る三日入港するため 窓に初日を七月三日に變更の止む なきに至った、これが高め七月二 日の回答者及び更に公平を期する ため七月三日の回答者五名をも正 ため七月三日の回答者五名をも正

同情の施

米

貧困失業者に

警察官が

海水浴場巡

波靜かな

濱あそびの面白

處

方が良いの

子供や婦人によろこばれる

宅虎灘静ヶ浦

鬼產婆、 殺しを自白 貨兒

合

が遅れるころだ

湾事務を開始すること A なった の支出を決議し、七月一日から数 金庫盗難 横須賀海兵團

1天、空、龙 四、公里·充

した 沙河

口納凉園

白系悪 匪賊となる

職兵分職に召職と 現金を機収り脚墨された金庫が要 見されたので十九日更に裸態検査 をなし駆送會議よりも側見送称言 をなし駆送會議よりも側見送称言 をなし取送會議よりも側見送称言 をなり同様ので十九日更に裸態検査 をなりのでは、一次であるが三十日午 は、一次であるが三十日午 は、一次であるが三十日午 は、一次であるが三十日午 は、一次であるが三十日午 は、一次であるが三十日午 は、一次であるが三十日午 は、一次であるが三十日午 は、一次である。

高齢者を優待

女子事務助手並女給仕集一、期間 は味道県町岩 三日道(程) 三十歳位迄れ 一、人數 廿五人、十七八歳より三十歳位迄れ 希望者は七月三日迄に本人來談ありたしい 希望者は七月三日迄に本人來談ありたしい 希望者は七月三日道(程) 2000年11月1日 | 1000年11月1日 | 1000年11月

證

許器

田田

が、瑠璃子は獣喉無用とばかり が、瑠璃子は獣喉無用とばかり

きななぜ逃げるのです きななで逃げるのです

が聞えて来た

と云ひ切つて起り出やうとした

子舗、食料品舗定で御

代表的製品なり

女神」に御注意を乞ふ

これ世界一としての榮譽を常に保持する

粗器品又は類似品多々あり商標「自由の

ソーダピスケット

と称せられるものにて

求め下さい

三越、宅の店、みなと

それは満村さんと

館を見つめた例子は……

社會トラケフピ・カリメア

E

ジャム、チーズ、バター等と共に召さば

不、ココア等と共に缺ぐ可からざる菓子 ペン食の御家庭又はは御來客に珈琲、

缸

これ亦同妙!

ダ

ソ製

院御推賞の品はこれ

胃腸其他病人又は乳兒幼兒に最適、

上品なる際味を有し強豪豐富、消化容易

0

最後にもう一度きつと瑠璃子の

お嬢様!
その青年は貴女と
深い関係がある
深い関係がある
できらか一言云いそへて

のる、合願習職子が怒りに燃えるには多情な等の眼を引付けた事も

(\(\)

||日活現代劇臺本より

Milliant manning

を

見

月

腹

21

虫

宿

3

世界一の蛔蟲驅除藥

対見には

マク

0-10 1-00 1-八0 允-보2

七

油

斷

0

日ば

凝驅除の

(四八)

月

化石したかのやうに動かなかった様子の、耐煙に見えてゐた血紅を後子の頭は窓りで一杯になつた。 を手の頭は窓りで一杯になつた。 を手の頭は窓りで一杯になつた。 を手の頭は窓りで一杯になった。

ト席から立ち上つた

ナ武

一升、四合、二合、

一合

蔵廷子金 士博学器 第2八七通西市連大 場中通車電場廣西橋フキト 第一六六七話電

お母様も御心配ですわませんからねエス場の爲によく御座い かり振った 【寫眞顧花久子事」だりよったお光は、倭子の手を

斯界

白

詰

0

●各地有名の和洋酒店にて販賣 **純植物性食用固形油**

南京號 象牙細工家具然性細工家具 安陶器類 品產國良優

> 直鐵 道

營省

馬 場

江庄場馬 ルトクド

地下室電

大連市学教師でれる地

西魔場野便

安く御利用あらん事を御告議各位の旅勢を慰するには共に本館の誇りとして居る典に本館の誇りとして居る

萬人向の芳香化粧石鹼

万不脂の時代 □三越、消費、組合、其、他有名食料、維貨店に有り 団は硬化肝油に次ぐ位で永久豐質酸散しない理想的な調理用油であります。 個は硬化肝油に次ぐ位で永久豐質酸散しない理想的な調理用油であります。 西に変化する。 大連油脂工業株式食品 の特理にお試し下さい。 の品であります。 子を持知、和洋菓 の品であります。

佛蘭西料理

說達町四丁司 管三六四四回

三大特徵/消化率最大學質



通部監市連大 店支連大社會名合納嘉 番五二五五 話章

息 (和院医沢黑)三町園公西市連大

強入八五四話電

餅は・

衛生工事の御用命は 餅屋へ 高高 高石

三根眼 電話大四一

大連市!

ゼリ 0-110 0-110 1-00 11-00

||日本郵船出帆

芳香化粧用 優,秀 ◎ミツワ石論 大量製産の副産物にして 價がお厳して、使心地の 第二十番 泡沫は細く作用は緩和 宜い理想的の化粧石鹼です 赤函入正價 一 简金二十錢 NO 50



子覧時田帆 塞山丸 大阪商船 大連支店 大阪商船 大連支店 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番

双 級 店 九 二 产 四二六四·五八八八

0ミツワ石絵本舗 東京

丸見屋商店

良屋館は北京

能认出朝

全 島谷汽船連出帆

朝鲜鄉

代理店 町三〇 七月二日美

近海郵船數出帆

Ⅲ阿波共同汽船